

# 学 会 彙 報

(昭和五十九年二月～十二月)

## ◇新入会員歓迎会

五月二十六日午後二時半

於 日蓮宗大本山妙顕寺

## ◇研究例会

六月二十六日午後四時

於 三一〇三教室

## 研究発表

サーンキヤ思想における識別知 (Vivekhyati) の変遷

博士課程三回 浅野 玄誠

大乘アビダルマ思想における心理論

の特質 専任講師 吉元 信行

尚、発表終了後、発表者を囲んで

第一研究室分室において懇談会がも

たれ、和やかな雰囲気の中に会を

閉じた。

## ◇学術懇談会

七月三日午後四時

於 三一〇三教室

講師 ジャン・ノエル・ロベール

フランス国立科学研究院主任研

究員・フランス高等研究院第五

部門講師

講題 日本天台の論議について

## ◇学術懇談会

九月十八日午後四時

於 尋源講堂

講師 B・K・マティラル

オクスフォード大学教授

講題 Scepticism and Mysticism in

the context of Indian Philo-

sophy

## ◇研究例会

十一月十三日午後四時

於 尋源講堂

## 研究発表

天台智顗における菩提心について

博士課程三回 山野 俊郎

ツォンカパの唯識説について

専任講師 小谷信千代

引き続き、第一研究室分室におい

て懇談会がもたれ、発表者を中心

に真剣かつ熱心な議論が交された。

## ◇公開講演会

十二月六日午後三時

於 尋源講堂

講師 氏家寛勝 高野山大学教授

講題 毘盧遮那仏の説法

講演終了後、講師を囲んで第一研

究室分室において懇談会がもたれ、

意欲的に情報の交換がなされた。

## 編 集 後 記

最近の海外の雑誌をみると、一論文ほどある書評が時々目につく。Review Article とでもいうのだろうか。『信心』の翻訳語をめぐってとか、また『無我説』をめぐって等々。あるいは『仏教解釈学』といったものは是非をめぐる議論も出てきた。仏教学研究の総体が自らの方法を求め模索している感である。それにつけ、索引やコンピュータという道具をも出す以前の、さらには一文献の読み方、以前の問題、つまり当の文献を取りあげている研究者の眼を、心を問うのではないなら、議論も終には徒勞である。ささやかにかすかにではあれ、本誌がそんな姿勢のもとに世に問われるとすれば幸いなことである。

(輝)